

臨床研究のご説明

名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業における軽度認知障害(Mild Cognitive Impairment:MCI)のスクリーニングおよび受診勧奨に関する研究

これから、この研究の内容について説明しますので、参加して頂けるかどうか、ご本人の自由な意思で決めてください。 例え、参加されなくても不利益になることはありません。

1) 研究の目的・意義

現在、名古屋市千種区社会福祉協議会では、地域に居住する高齢者を対象とした「高齢者はつらつ長寿推進事業」を行っています。この高齢者はつらつ長寿推進事業は、健康増進活動やレクリエーションを通じて介護予防についての理解を深めていただくとともに、自主活動・地域活動への参加により、地域において元気でいきいきとした生活が送れるよう支援する事業です。

高齢者の方の日常生活動作(ADL)が低下し、要介護状態になる原因の一つとして、認知症があります。認知症によって日常生活に支障が出ないようにするために、認知症の前段階と考えられる軽度認知障害(MCI)を早く見つけ、専門医のアドバイスを受けることが大切です。

そこで、愛知学院大学薬学部臨床薬剤学講座は、名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業に参加している高齢者の方を対象とした認知症やMCIについてのセミナーを開催し、参加者の方に認知症やMCIについて正しく理解して頂くことで、認知症の早期治療に貢献できるのではないかと考えました。このセミナーでは、認知症やMCIについてのお話に加え、認知機能が低下し始めた時の症状や兆候を確認して頂くこと、認知機能にご不安やご心配がある場合には「かかりつけ医」もしくは「もの忘れ相談医」への受診をお勧めすることを行います。

今回、参加者の方の認知症やMCIに関する理解度の変化や、セミナーに参加した後に「かかりつけ医」もしくは「もの忘れ相談医」への受診状況を調査し、この認知症やMCIについてのセミナーの有用性を評価します。

2) 研究の方法

- ① 愛知学院大学薬学部臨床薬剤学講座 長田孝司から参加者の方に、この研究について十分に説明いたします。同意して頂ける方は、同意書に署名をお願い致します。
- ② はつらつ教室では、まず、参加者の方の受診状況、お薬の使用状況をお伺いします。お薬手帳をお持ちの方はご提示ください。続いて、認知症についていくつか質問致します。「知っている」、「名前は聞いたことがあるがよく知らない」、「知らない」でご回答ください。
- ③ 認知症に関するお話を約20分間行います。終了後、また、認知症についていくつか質問致

します。「知っている」、「名前は聞いたことがあるがよく知らない」、「知らない」でご回答ください。

- ④ 次に、認知症の初期症状を示したチェックリストを配布します。チェック項目についてひとつずつ説明するので、ご自身に該当しないか確認してください。
- ⑤ セミナーに参加してから2か月の間に、「かかりつけ医」もしくは「もの忘れ相談医」に受診し、認知症のことについて相談したかをお伺いします。
- ⑥ 認知症についてのご理解の変化と、「かかりつけ医」もしくは「もの忘れ相談医」への受診状況から、認知症についてのセミナーと認知症チェックリストによる自己チェックの有用性を評価します。

3)研究への参加とその撤回について

この研究への参加は、本人の自由意思によるものであり、同意した後でも、同意をいつでも撤回することができます。拒否・撤回をしても、不利益を被ることはありません。

4)個人情報の保護について

個人情報保護法に基づき個人情報の管理を行い、本研究で得られた個人情報は、本研究目的以外には使用されることはありません。個人情報の取り扱いには十分注意し、情報の紛失や本研究の参加者個人が特定されることを防ぐため、聞き取り調査データは、愛知学院大学薬学部臨床薬剤学講座において、それぞれパスワードを設定したファイルに記録し、USB メモリに保存して、鍵のかかるキャビネットに保管します。そのため、第三者が同講座の職員やデータベースへの不正アクセスを介さずに、直接参加者を識別できる情報を閲覧することはできません。

5)研究結果の公表について

この研究で得られた成果は、国際・国内学会発表や論文発表を予定しております。その際、個人を識別できる情報は一切含みません。

6)研究を担当する薬剤師および健康被害が発生した場合の連絡先

この研究のことで何かの分からぬことや心配なことがありましたら、いつでも、こちらに記載されている薬剤師または相談窓口にお尋ねください。

研究責任者(薬剤師):准教授・長田孝司(おさだたかし)

研究分担者:教授・山村恵子、講師・渡邊法男

連絡先:052-757-6766 (愛知学院大学薬学部臨床薬剤学講座)